

◆ペロポネソス半島から北部テッサロニキ、エーゲ海の島々までぐるりとギリシャを周遊！ サントリーニ島は2連泊！◆

～神話と文明の地を辿り、エーゲ海の島々も巡る～ ギリシャ紀行 15日間



紺碧のエーゲ海、美しき島々を巡る ギリシャには約 3,300 もの島々があり、美しい島々が集まるのがエーゲ海。当ツアーでは、最も有名なサントリーニ島に加え、白壁の家と丘の上に建ち並ぶ風車など美しい景色に溢れるミコノス島、島自身が世界遺産に指定されるディロス島、エーゲ海最大の島でギリシャ文明発祥の地・クレタ島と計 4 島を巡ります。



ギリシャ北部マケドニア地方も訪問 遙かインダスまでの大帝国を築き、東西の文明を交流させるきっかけともなったアレキサンダー大王の故郷であるマケドニア地方。生誕地ペラや王国最初の都ヴェルギナを訪問。また、ギリシャ第二の都市テッサロニキでは、見事なモザイク画で知られるビザンチン様式のアギオス・ディミトリオス教会（世界遺産）を訪れます。



サントリーニ島に2連泊 キクラデス諸島南端に位置する火山性の島。紀元前 15 世紀の大噴火と地震で島の中心部が沈み、現在の三日月型になりました。紺碧の海と白壁の家々、青い丸屋根の教会、そして海に沈む夕日・・・まさにエーゲ海の島に期待されるもの全てが、ここにあるのです。半日島内観光＋終日自由行動で、たっぷりとお楽しみいただけます。



エーゲ海の島々の中で最も都会的でお洒落な雰囲気に満ちており、富裕層が別荘を多く構えることでも知られています。「エーゲ海に浮かぶ白い宝石」とも言われ、白い入り組んだ道、軒先に咲く花々、小さな教会や風車・・・全て絵になる、心躍る島なのです。



ミコノス島南西に位置する無人島が、世界遺産のディロス島。島全体が遺跡で、まさに野外の考古学博物館。古代ギリシャでは聖地とされており、ギリシャ神話において、太陽神アポロンと月の女神アルテミスが誕生した地とされています。



圧倒的な威容・メテオラの修道院群 ギリシャのほぼ中央、ピンドス山脈の奇岩の上に建つメテオラの修道院群。このメテオラの語源「メテオロス」とは古代ギリシャ語で「空中に浮く」という意味の形容詞。この言葉通り、高い物では 400m もの高さに修道院が建てられています。ギリシャ正教の若き修道士が「神の近くに近づきたい」との思いから建てたのが始まり。今世紀初めまでは階段もはしごもなく、下界とのやりとりは全て人間も含めて、滑車に吊るした網袋だけでした。内部には中世の見事なフレスコ画を見ることができ、世界自然遺産と文化遺産の複合遺産となっています。今も厳しい戒律を守る修道士の姿を見ることが出来、絶景でありながら、荘厳な印象を受ける地なのです。



出発日	旅行代金
10月13日(月)	998,000円
一人部屋利用追加代金：198,000円	
(原則シングルルーム／ホテル側の都合によりツインになる場合もあります。)	
二人部屋の一人利用追加代金：229,000円	
(ツインルームまたはダブルルームを確約)	

◎利用予定航空：エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、エティハド航空、カタール航空、LOT ポーランド航空。
◎添乗員：成田または羽田空港より全行程同行。
◎ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくはお問い合わせ下さい。
◎食事：朝食 12 回・昼食 10 回・夕食 9 回(備内録はく)
◎海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
◎最少催行人員：10 名 (最大 20 名)
◎旅券残存：帰国時 3 カ月以上 ◎旅券余白：見開き 2 頁要
◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆
◎成田空港使用料・保安サービス料：3,160 円
◎国際観光旅客税：1,000 円
◎燃油サーチャージ目安：72,000 円 (2025 年 4 月現在)

◆コースのポイント◆
ペロポネソス半島をじっくりと巡り、メテオラの修道院、北部テッサロニキまで訪れるギリシャの旅・決定版！エーゲ海の島々はクレタ島、サントリーニ島、ディロス島、ミコノス島の 4 島を訪れます。
◇白亜の建物かエーゲ海に映えるサントリーニ島に 2 連泊。のんびりと美しい島内の散策などをお楽しみ下さい。
◇島全体が世界遺産に指定されるディロス島も訪問します。
◇各遺跡では、付属の博物館も見学します。価値の高い出土品を展示しており、見応えがあるものばかりです。

ペロポネソス半島 の世界遺産の数々も訪問。オリンピック発祥の地オリンピア、医学の神アスクレピオスを祀るエピダウロス遺跡、シュリーマンにより発掘されたことで知られるミケーネ遺跡にご案内。また、それぞれ付属の博物館も見学します。



※遺跡、博物館などは、政府命令、宗教行事、その他現地事情により入場、見学出来なくなる場合もございます。その場合、代替観光にご案内します。
※運送機関のスケジュールが流動的なお国柄です。スケジュール変更により、一部行程に変更が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。
※港や空港にはボーターがありません。スーツケースをご自身でお運びいただくことがあること、あらかじめご了承ください。
※観光は、他のお客様との混雑となる場合もございます。
※クレタ～サントリーニ間は、空路移動となる場合もございます。
※ギリシャ国内線の利用時は、アテネ乗り継ぎになる場合もございます。

ご旅行条件(要約) この書面は旅行業法第 12 条の 4 に定める取引条件説明書面および同法第 12 条の 5 に定める契約書面の一部となります。別途交付する旅行条件書(全文)をお受け取りの上、必ずご確認の上でお申し込み下さい。
●この旅行は、株式会社旅のデザインルームが企画・実施する旅行であり、お客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行取引条件及び旅行条件(全文)、ご出発前にお渡しする最終日程表(確定書面)によります。
●旅行代金に含まれるもの：旅行日程に明示した運輸機関の運賃、食料料金、観光料金(バス料金、ガイド料金・入場料)、宿泊料金(二名一室を基準)及び税・サービス料、海外空港諸税、スーツケース一個の運搬料金、団体行動中のチップ、添乗員付コースはその同行諸費用。以上の費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。
●旅行代金に含まれないもの：上記の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。超過手荷物料金、一人部屋利用の場合の追加料金、希望者のみ参加されるオプション・ツアーの料金、渡航手続関係諸費用(旅券印紙代、手続代行料金など)、日本国内の空港施設使用料・保安サービス料、国際観光旅客税、燃油サーチャージ、国内におけるご自宅からツアー集合及び解散空港間の交通費・宿泊費、クリーニング代・電報電話料金・ホテルのボーイやメイドへのチップ、日程明示外及び別途追加の飲食費、他一切の個人的性質の諸費用。

株式会社 **旅のデザインルーム**
JATA正会員・観光庁長官 登録旅行業第288号
ホームページ <http://www.tabidezo.co.jp>

	都市名	スケジュール
1	東京	■午後～深夜、成田または羽田空港より、空路、乗り継ぎ便にて、ギリシャの首都アテネへ向かいます。〈機中泊〉 ☐ ☐ ☐
2	アテネ	■午前～時刻、アテネ着。 ■着後、ホテルへ。〈アテネ泊〉 ☐ ☐ ☐
3	アテネ(コリントス) (エピダウロス) (ミケーネ) オリンピア	■午前、ペロポネソス半島へ。途中、深い切り通しのコリントス運河○を観光します。 ★昼食は、 ギリシャ料理スプラキ (肉の串焼き)をどうぞ。 ■午後、 エピダウロス遺跡 ◎(世界遺産)と博物館◎にご案内します。また、シュリーマンの発掘で知られる ミケーネ遺跡 ◎(世界遺産)と博物館◎も見学します。その後、オリンピックの発祥地オリンピアへ。〈オリンピア泊〉 ☐ ☐ ☐
4	オリンピア(リオアンティリオ橋) デルフィ	■午前、世界遺産 オリンピア遺跡 の観光。ゼウス神殿○、聖火の祭壇○、オリンピック・スタジアム○、オリンピア博物館◎など。 ★昼食は、 ギリシア伝統料理ムサカ をどうぞ。 ■午後、美しい リオ・アンティリオ橋 を渡り、デルフィへ。着後、古代人の神殿参拝の聖域・ デルフィの遺跡群 ◎(世界遺産)と博物館◎を見学します。〈デルフィまたは近郊泊〉 ☐ ☐ ☐
	デルフィ(オシオス・ルカス)	■午前、デルフィ近郊にある黄金のモザイクが美しい オシオス・ルカス修道院 ◎(世界遺産)をご覧ください。観光後、奇岩の上に建つ修道院で知られるメテオラ観光の拠点 カランバカ へ。 ★昼食は、 ギリシア伝統料理スタッフド・トマトとスタッフド・ピーマン をどうぞ。 ■午後、 メテオラの奇岩群の上に建つ修道院 (世界遺産)を訪ねます。高台に建てられたメガロ・メテオロン修道院○、カランバカの町を見下ろすアギオス・ステファノス修道院○、ルサヌ修道院○をご覧ください。 ★4つの修道院が一望出来る 絶景ポイント にもご案内します。〈カランバカまたは近郊泊〉 ☐ ☐ ☐
5	(メテオラ修道院)	
	カランバカ	
6	カランバカ(ペラ) (ヴェルギナ) テッサロニキ	■午前、北部ギリシアの中心地 テッサロニキ へ。途中、マケドニア王国の最初の首都と云われている ヴェルギナ遺跡 ◎(世界遺産)を訪ねます。 ■午後、 アレキサンダー大王の生地ペラ を訪れペラ遺跡◎と博物館◎を見学します。〈テッサロニキ泊〉 ☐ ☐ ☐
7	テッサロニキ クレタ島	■午前、 テッサロニキの観光 。町のシンボル・ホワイト・タワー○、ギリシア最大のアギオス・ディミトリオス教会◎(世界遺産)、ガレリウスの凱旋門○など。 ■夜、空路、エーゲ海最大の島である クレタ島 イラクリオンへ向かいます。〈クレタ島イラクリオン泊〉 ☐ ☐ ☐
8	クレタ島滞在	
9	クレタ島 サントリーニ島	■朝～午前、高速艇にてサントリーニ島に向かいます。(※) ■午後、 サントリーニ島の観光 。島の中心 フィラの町 ○を散策。アトランティス伝説が生まれた アクロティリ遺跡 ◎、メガロン・ギジ博物館◎も見学します。 ■夕刻、島の北端の町 イア にご案内。天候が良ければ、エーゲ海に沈む美しい夕陽をご覧ください。〈サントリーニ島泊〉 ☐ ☐ ☐
10	サントリーニ島 滞在	■終日、自由行動。サントリーニ島の休日をお楽しみ下さい。ご希望の方は、添乗員が実費にておすすめプランにご案内します。〈サントリーニ島泊〉 ☐ ☐ ☐
11	サントリーニ島 ミコノス島	■午前、フェリーにてミコノス島へ。 ★昼食は、 ミコノス島の名物ソーセージ「ルカニカ」 をどうぞ。 ■着後、 ミコノス・タウンの観光 。青屋根のセント・ニコラス教会○、白亜のパラボルティアニ教会○、リトル・ヴェニス○など。〈ミコノス島泊〉 ☐ ☐ ☐
12	(ディロス島) ミコノス島 アテネ	■午前、船にて、世界遺産 ディロス島 の観光へ。考古学遺跡○、島の象徴ライオン像○、聖なる湖○など。観光後、船にてミコノス島に戻ります。 ■夕刻～夜、空路、アテネに向かいます。〈アテネ泊〉 ☐ ☐ ☐
13	アテネ滞在	■終日、 アテネの観光 。世界遺産 アクロポリスの丘 ○と バルテノン神殿 ◎、新アクロポリス博物館◎、ディオニソス劇場○、国立考古学博物館◎、第一回の近代オリンピックが開かれた競技場○、ゼウス神殿△、シンタグマ広場△など。〈アテネ泊〉 ☐ ☐ ☐
14	アテネ	■午前～夜、空路、乗り継ぎ便にて、帰国の途へ。〈機中泊〉 ☐ ☐ ☐
15	東京	■午後～深夜、成田または羽田空港着。通関後、解散。

イヤホンガイド・サービスを使用します。 昼食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービスします。

●取消料	旅行解除期日	旅行代金	取消料 (お一人)
ピーク時の旅行 (41 日前までは不要)	旅行代金の 10% (限度額 5 万円)		
●40 日前から 31 日前までの取消し	30 万円以上	50,000 円	
	15 万円以上	30,000 円	
	30 万円未満	20,000 円	
	15 万円未満	10,000 円	
その他の期間の旅行 (31 日前迄不要)	旅行代金の 20%		
●30 日前から 21 日前迄の取消し	旅行代金の 50%		
●前々日から当日	旅行代金の 100%		
●無連絡不参加及び旅行開始後			

●「ピーク時」とは 12/20～1/7、4/27～5/6 及び 7/20～8/31 をいいます。
●取消料の対象なお支払い対象旅行代金は、旅行代金と追加代金(一人部屋利用追加代金・航空機の等級変更による差額など)の合計額です。
●お一人で参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、一人部屋利用追加代金の半額にて、お一人部屋をご利用いただけます。但し、ご出発日の 60 日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限ります。尚、相部屋の方は、禁煙・喫煙、同年代などのご希望には添えません。また、お申込後、「相部屋→一人部屋」へ希望を変更することは原則不可となります。
●日程中のマークの見方
☒：朝食、☒：昼食、☒：夕食、☒：機内食、☒：食事なし
○：入場観光、○：下車観光、△：車窓観光
●海外渡航関連情報について
訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下でご確認下さい。
・外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>
・厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>
●旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は 2025 年 4 月 25 日を基準としております。また旅行代金は 2024 年 9 月 9 日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しています。
●旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。担当者からの説明にご不明な点がございましたら、遠慮なく下記、旅行業務取扱管理者までご質問下さい。

東京 (03) 3567-9191 大阪 (06) 6201-0831

〒104-0061 東京都中央区銀座 2-6-8 日本生命銀座ビル 7 階 総合旅行業務取扱管理者 中川 泰三
〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18 中之島フェスティバルタワー 17 階 総合旅行業務取扱管理者 木下 正人
営業時間：月曜日～金曜日/09:30～18:00、土曜日/10:00～15:30(日曜日・祝日は休業日)